

# 知多都市計画公園(案)に対する意見募集結果

## 1 意見募集の実施方法

- (1) 意見募集期間 平成28年11月1日(火)から平成28年11月30日(水)
- (2) 案の公表方法 都市整備課窓口及び美浜町ホームページ
- (3) 周知の方法 美浜町ホームページ及び広報みはま(平成28年11月号)に掲載  
住民説明会、地権者説明、関係団体説明会にて告知

## 2 実施結果

- (1) 意見の提出者数 10名

## 3 意見の概要と町の考え方

	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	<p>日本福祉大学の美浜キャンパスの移転から30年以上が経過して、知多奥田駅周辺のエリアは、農地が広がっている状況となっています。</p> <p>平成28年10月31日(月)知多奥田駅東部地区開発に関する地区説明会に参加しました。日本福祉大学が(大企業)が移転して、経済効果が500億円以上あったと聞きました。又、町民の生命を守る防災拠点の整備がされると聞きました。これからの美浜町を考えて行くなれば、27億円の投資をすべきだと思います。</p>	<p>同説明会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>説明会では日本福祉大学が本町へ移転したことに伴う経済効果を学生数で説明させていただきました。少なくともそれだけの効果があったと積算はしましたが、今回の積算に含まれていないものもございましてので付け加えさせていただきます。</p> <p>また、西部地区の小学校は、海岸に近い場所に位置しておりますので、津波の浸水区域から離れた場所に西部地区の防災用拠点整備することは緊喫の課題でございました。美浜町運動公園整備とあわせて防災、減災施設整備を進めていきます。</p>
2	<p>美浜町運動公園整備事業が行われない場合は、(2018年度大学生問題)少子化に伴って駅周辺は、30年、50年先も現状のままで、町全体は衰退して行くと思います。</p> <p>整備事業が行われた場合は、初期の段階、日本福祉大学と地域との交流をより深めながら、学園都市としての機能は高まると思います。時代の経過と共に、鉄道駅に隣接している為、知多半島の小・中・高校生・企業の人たちが利用して、大学だけでなく、町民・来町者の利用度が増加すると思います。2015年度大学にて人口芝のグラウンド(ラグビー・サッカー)ができ、平日の夜間、土日の練習・試合などで、知多奥田の乗降客が増加しています。2017年度4月スポーツ科学部が開設します。大学の近くに鉄道駅・運動公園(日本陸上競技公認トラック)がありますと、オープンキャンパスなどに参加した受験生が増加すると思います。</p>	<p>今回の運動公園整備については、駅に隣接するという利点を最大限活かし、多くの来町者を呼び込むことにより鉄道利用数の確保を図り、路線の維持、運行本数の増便を目指します。</p> <p>ご意見にありますオープンキャンパスもそうですし、スポーツ大会の誘致、他のイベント開催、レジャー施設である南知多ビーチランドとの連携などを図っていく必要があると考えます。</p> <p>また、同じく隣接する日本福祉大学においては、福祉関係学部、保育関係学部、スポーツ科学関係の学部がありますので、この指導者、学生、競技者などの関係者と連携し学園ゾーンを成熟させ住民、大学、行政が一体となったまちづくりを目指していきます。</p> <p>このような波及効果が、知多奥田駅周辺エリアに広がっていくことにより、奥田学区のみでなく上野間学区、野間学区という西部地区、また町全体の賑わい、活性化につながっていくことと考えております。</p>

3	<p>区会・町の職員の方々の努力により、アピールポイント（モデル地区）として、中部地区の中で「町民・来町者が利用できる鉄道駅に隣接した運動公園」として30年先の若者達の為に、着工に向かって頑張りたいです。</p>	<p>鉄道駅に近いということは、お子様などの大会誘致にも有利となります。多くの方にご来町いただくことにより本町の良さを知っていただく機会ができるものと考えております。</p> <p>また、本町は、既に少子高齢化が始まっておりますので、早期に整備を完成させ、人口減少分を交流人口、滞在人口にて補いながら、現在のまちの賑わいを維持、増大させることが必要となっております。</p>
4	<p>美浜町運動公園の説明会は、奥田地区のみでなく町内全地区で行うべきである。（美浜町総合公園も同様）</p> <p>町税を使っている事業であり、完成後の負担も町民にくるので説明が必要である。</p>	<p>平成28年10月31日に開催しました住民説明会は、奥田地区に限定したものでなく町内全域を対象としており、さらに在住者のみでなく在勤、在学者を対象とした説明会として開催を行っております。会場には、町内各地区から多くの方にご参加いただきました。</p> <p>また11月1日より30日間の今回のパブリックコメントの募集においては、前述の方のほかに町内に事務所を有する個人、法人その他の団体、本町に対する納税義務を有する方、事案に利害関係を有する方にまで対象者を広げ意見集約を行っております。</p>
5	<p>日本福祉大学のためのグラント建設であり、高齢者、子供たちのための広場が少ない。</p>	<p>運動公園整備は、都市計画公園として行う計画ではありますが、隣接地の日本福祉大学を活用していきたいとの狙いもございます。平日のグラウンド利用率は極端に落ち込みますが、日本福祉大学に貸し出すことにより使用料収入など維持管理に必要なお金を賄うことができます。</p> <p>また、日本福祉大学が新設するスポーツ施設との相互利用により相乗効果が地域に出るように協議してまいりますので、同大学のためということではなく、連携することによりお互いに利を得るものにしていきたいと考えております。</p> <p>また、高齢者、子供のための広場が少ないとのことについては、近隣公園規模の緑地を確保しており、グラウンドゴルフなどの大会については、陸上競技場の中央芝生にて実施もできますので、活用方法にて多様性を持つことができます。</p>
6	<p>公園の名称について、「美浜町運動公園」ではなく「美浜町運動・防災公園」として、誰にでもわかるような表示にした方が、大地震の備えとして来訪者にもわかりやすいので変更を提案する。</p>	<p>周知という面で大変貴重なご意見をいただきました。都市計画決定としての名称は、現在「美浜町運動公園」としてお示ししておりますが、今後の維持管理体制の中でネーミングライツ（命名権）等も検討を行っていくことを考えております。防災面の避難所としては、案内板等を利用したり、民間施設を含む関係機関と連携、協議しながら周知を図っていきたくて考えております。</p>

7	<p>幾多の地震の経験から西部地域に防災拠点を整備することは非常に重要なことである。西部地域全域をカバーできる防災倉庫、避難用駐車場、仮設住宅建設地を用意し、安易に小中学校の校庭等を使用することのないように準備するべきである。</p> <p>よって、防災・減災ゾーンの拡充をはかるべきである。</p> <p>また、津波に備えて、宅造地盤を大幅に上げるべきであり、車避難者用の駐車場区域と仮設住宅の建設を整備するべきである。</p>	<p>現在、各小中学校等を中心に防災用のコンテナ等を配置しておりますが容量的に過小であり、野間防災倉庫においても同様となっております。今回の運動公園整備に合わせて荷出しの安易な平屋建ての防災倉庫の設置を検討しています。これまでのコンテナ内では、備蓄できなかったものや多様な資材、消耗品を備蓄することが可能となるようにしていきます。</p> <p>また、小中学校に避難者が滞留すると学校教育に多大な影響を与えますので、本町では、これまで仮設住宅用地として美浜町総合公園、町民第2グラウンド（津波時使用不可）、旧布土小学校（同様）、美浜緑苑小原池中央公園を指定しています。地震時に建設可能戸数は、244戸としておりますが、本公園整備後については、競技場中央芝生及び多目的スポーツ広場を指定し、およそ150戸追加することが可能となります。その他、舗装駐車場も利用できますので車避難者用のスペースは確保できるものと考えておりますが、活用面については今後の検討とさせていただきます。</p> <p>防災倉庫の位置については、津波浸水区域から1キロほど離れており、海拔4～6メートルの地盤に盛土をしたのち建築を考慮しております。また、運動公園内には、災害時にすぐに利用できるようにレストコーナーなどにはかまどベンチ、浄化槽の付近にはマンホールトイレ対応など災害避難を想定した設備を併設していきたいと考えております</p>
8	<p>遊戯ゾーン及び健康ゾーンの位置を知多奥田駅側に移動し、駐車場を防災倉庫のある位置へと移動したかどうか。</p> <p>また、「高齢者福祉健康器具」の「高齢者」については削除し、全町民を対象とした健康増進を図ることを目的とした「健康増進ゾーン」の方が運動公園に合致する。</p> <p>遊戯ゾーン及び健康増進ゾーン専用駐車場は、別途で15～20台分を確保する。</p>	<p>運動公園南西部に配置する駐車場に関しては、今後、協議を予定しております日本福祉大学との運動施設の連携を考慮し、地域住民の方が同大学運動施設を利用しやすい位置にということで配置を検討しております。施設配置につきましては、今後の実施設計の中で規模も含めて検討を行ってまいります。</p> <p>また、「高齢者」という言葉の表記については、ご意見のありましたとおりでございますので修正をさせていただきます。</p>
9	<p>総合公園の野球場整備については、多目的グラウンドではなく硬式野球場の整備とする。理由としては次のとおりである。</p> <p>硬式仕様であるなら準硬式、軟式、ソフトボールなど用途の多様化が見込め、利用の集中を防ぐことができ平準化できる。</p> <p>大学野球、高校野球などの公式の大会を呼び込むことができる。また、合宿地や野球大会誘致により宿泊や観光等の地域経済の活性化につながる。</p> <p>ハイレベルな野球を身近に観戦できることになり、同じ場所でスポーツを楽しむことは利用の促進になる。このことが町民のスポーツ参加意識を高める。さらに地域の子供たちが大きな大会等に出場するようになれば町民一体となった応援が可能となる。</p>	<p>多目的グラウンドとしている理由は、野球場の他、サッカー場としても利用可能としているためであります。</p> <p>野球場の仕様については、硬式にも対応できるよう実施設計の中で検討していきます。</p>

10	<p>知多奥田駅周辺の整備は、大学のある町また西部地区の玄関として長年の地域の願いである。この整備により西部地区全体へと賑わい、活性化が繋がっていくものと期待している。まちづくりの一環として実現できるよう取り組んでいただきたい。</p>	<p>知多奥田駅周辺の整備は、多年にわたり整備の方向性などについて、地元区、地権者の皆様と意見交換を実施してまいりました。しかしながら、現実として名鉄知多新線の開通、大学の移転と外部状況の変化がありながら依然と変わらぬ姿となっており、総合計画等でも長年の懸案事項となっております。</p> <p>今回、知多奥田駅東部の整備となりますが、本整備により波及効果が西部地区はじめ本町全体に広がっていくことを期待して整備を進めていきます。</p>
11	<p>運動公園の駐車スペースの有効利用について、万一の災害に備え消防団は日頃より訓練を行っているが、安全な訓練場所がない。駐車場の利用については、駐車のみに限らず消防団の練習場所など様々なことに利用できるようにしたいのではないかと。</p>	<p>運動公園内の施設の利用については、駐車場スペースのみでなく広く多様な活用ができるようにしていきたいと考えております。一定の制限などは必要かと考えますが、管理、制度上の問題点がなければ、ご意見にありますような消防団による訓練場所としての利用については問題ないと考えております。</p> <p>また、満足していただける施設としても、万が一の際に使用する施設としても多くの方に日頃より利用していただき、本公園についての仕様について把握していただけることは、大変良いことであると考えております。</p>
12	<p>運動公園への道路については、今回の公園整備の計画の中で町道の付け替え等の計画されておりますが、少しでも多くの方に利用していただくためには安全な道路の整備は不可欠である。周辺道路整備をはじめ都市計画道路知多西部線の早期開通をしていただきたい。</p>	<p>運動公園整備区域内には、既存の町道奥田・河和線（農免道路）、町道森越・石坂平井線（奥田駅から農免道路まで）を取り込んでおりますので、それぞれ付け替えを実施し、既存道路幅員より拡幅し、歩道を設置していきたいと考えております。</p> <p>また、県所管事業となりますが、都市計画道路知多西部線についても本公園へのアクセス道路として重要な路線でありますので早期開通に向けて愛知県に引き続き強く要望をしていきますのでご理解をよろしくお願いします。</p>
13	<p>パブリックコメントの内容に工事金額、都市計画税の在り方、町債の見通し等財政計画が示されていない。このような提示は認められない。</p>	<p>美浜町運動公園については、住民説明会では、用地費を除いて直接工事費が、20億ほどになると説明をしております。また、美浜町総合公園については、用地費を除いて直接工事費が、5.5億ほどになると説明をしております。国庫交付金の基準額については施設工事費の1/2となっております残り町が負担することになります。町負担分について、都市計画税を充当し、年により不足する額を起債していくこととなります。</p> <p>施設の詳細な決定については、平成29年度以降の実施設設計にて確定してまいります。現在、住民説明会及びパブリックコメントにより住民の皆様のご意見、ご要望を聞き施設の種類の種類、規模等を意見聴取している段階です。上記に示した金額については、概算工事となっておりますのでご了承ください。</p>
14	<p>国道バイパスの拡張事業に対する国県の財政補てんは約束されているのか。</p>	<p>町道森越・石坂平井線の付け替えのことであるとありますが、町道の付替え工事となり、国県より、補助をもらいながら施工を進める計画としております。</p>

15	<p>運動公園の防災倉庫の位置について川沿いであるので危険ではないか。</p>	<p>当該地については、津波浸水区域外であり、現在愛知県により策定している河川整備計画の河川区域外になるよう県と調整しております。</p> <p>また、今後、位置については、利用上の効率性も含めて最適地を区域内にて選定し実施設計に反映していくことも検討しておりますのでご理解ください。</p>
16	<p>知多奥田駅西側については、どうなのか。</p>	<p>本パブリックコメントについては、都市計画公園についてのものであるため主旨と乖離していますが、駅西側については、本運動公園整備後の状況の変化を捉えながら検討していくこととなります。</p>
17	<p>日本福祉大学からの陸上競技場建設の要請は受けていないのか。建設費、維持管理費について大学の協力について約束は取れているのか。維持管理は大学にってもらうことは決まっているのか。</p>	<p>運動公園の整備に関して、日本福祉大学からは要望をいただいております。建設費及び維持管理費の負担については、同大学に規定以上の負担を求めることは考えておりません。また、管理者の選定については、選定方法も含めて現在決定しているものはございません。</p>
18	<p>維持管理・運営について総合グラウンド・運動公園と離れると以前の第2グラウンドを第1グラウンドに合わせて一括管理する方針と変わってくるがどのように考えているか。</p>	<p>総合公園に現在の第2町民グラウンドを集約し、拡充を図ることにつきましては、第2グラウンドの周辺状況の変化及び準工業地域の土地利用の有効性を総合的に勘案し進めているものとなります。</p> <p>総合公園、運動公園についてはそれぞれ都市基幹公園となりますので、維持管理・運営の方法について効率性と利用者の安全・安心を含めて最善な方法を検討していきます。</p>
19	<p>以前あった総合公園の子供の遊びコーナーについてどのようになっているのか。</p>	<p>以前というのが、いつの時点なのか分かりかねますが、美浜町総合公園計画平面図の北側で、既存グラウンドと拡張部分の間に幼児児童用の複合遊具などを配置し遊び場の創出を計画しております。</p>
20	<p>総合公園を利用する野球人口・サッカー人口をどのように見通しているのか。</p>	<p>総合公園グラウンドの利用者数は、平成27年度集計では281件24,340人となっております。うち野球の利用は132件、ソフトボールの利用は13件、サッカーの利用については35件となっております。</p> <p>また、町民第2グラウンドについては、82件2,614名となっております。現在、町民第2グラウンドでは周辺対策として野球の利用を禁止しておりますのでソフトボール、サッカーなどで利用をしていただいております。</p> <p>今後、総合公園にその機能を集約することにより、より利用の多様化が図られ施設利用の申し込みをお断りすることが無くなると考えられますので利用者数は増加するものと考えております。</p>
21	<p>総合公園のサッカー場の必要性については、現在あるグラウンドで間に合うのではないのでしょうか。</p> <p>奥田の運動公園は、河和住民が行くのに不便である。河和方面に気軽に使える緑地公園みたいなものを作ってほしい。</p>	<p>総合公園のサッカー場については、第2町民グラウンドの代替施設として野球場、サッカー場等を整備するものとなります。</p> <p>河和方面に緑地公園ということにつきましては、総合公園の拡張部に芝生広場を整備する計画でありますのでご利用いただきたいと考えております。</p>

22	<p>日本の福祉を学ぶ大学が近くにあるので、運動公園でなく、福祉村をつくることを提案する。学生達が福祉の実践、ボランティアをし、大学の先生に関わってもらい美浜らしい福祉文化を創造してほしい。保育所や子育て施設、障害者就労施設、高齢者施設を建設して共存社会を実現するモデルとしてはどうか。0才から100歳までの地域包括ケアシステムを実践する場所となる。</p> <p>障害者施設の就労継続B型をつくってはどうか。就労施設Bを開設すれば障害者の親にも選択肢が広がると思う。作業種類は、農業で特産物となるような野菜や花を育て販売することを検討してほしい。</p>	<p>日本福祉大学の学生、指導者等の方に関わっていただきたいという考え方について、今回の運動公園も同様となっております。関わっていただきたい内容についても、同大学の中には、乳幼児から高齢者までの保育、福祉などの学部があり、スポーツ科学部ができることにより健康づくりや障害者スポーツなどにも力を入れていくということを聞いておりますので、生涯活躍できるまちづくりの一役を担っていただきたいと考えております。</p> <p>ご提案のありました保育所や子育て施設、障害者就労施設、高齢者施設について、建設として今回の計画の中に取り込むことは難しいですが、ソフト面として、大いに取り入れることもできると考えています。</p>
23	<p>総合公園の野球場について土日はともかく、平日は利用されているところを見たことはありません。土日のための新設では、費用対効果の面で問題がある。</p>	<p>総合公園グラウンドの利用状況については、No.20で記載したとおりとなっております。夏季等の集中期には、予約が重複しお断りをしている状況となっております。</p> <p>今後、町民第2グラウンドを集約したことによる利便性の向上が図られることが予想されますので利用者数は増加するものと考えております。</p>
24	<p>総合公園の計画について、見直しを公約としていたが、少しの見直しのままとまっている。なぜ、広い芝生広場が新たに必要なのか。なぜ、大駐車場が必要なのか。</p>	<p>現在の総合公園において、県道向かい側の駐車場（緑地広場）については借地となっております。平成29年度末をもって契約終了となります。そのため、町所有の駐車場用地を確保する必要がありますので今回の整備の中で駐車場用地を合わせて確保するものとなっております。</p> <p>また、計画の見直しについて以前は野球場を2面、体験学習センター等を整備する計画としておりましたが、現在は、体験学習センターについては取りやめ、野球場についても1面の整備をすることとなっております。芝生広場については、公園緑地面積の確保が必要となってきますので、当面芝生広場として活用をし、今後の整備について検討することとなっております。</p>
25	<p>運動公園の計画は、突然持ち上がり、町民の要求ではなく日本福祉大学の新学部に対する便宜供与の性格が強く動機が不純である。総合計画にその記述があるとしても、財政面、緊急度から優先順位をつけるべきである。日本福祉大学との共存・交流は重要であるが、こんな便宜供与ではなく、本町の身の丈に合った真摯な施策が必要である。</p>	<p>知多奥田駅周辺については、本町の長年の懸念案件として過去の総合計画から引き続き検討がなされてまいりました。様々な紆余曲折を経ながら平成24年度から本整備についての検討に入り、内部検討会、地元意見交換会等を実施し、パブリックコメントに至っております。</p> <p>この間に日本福祉大学による新学部創設の話が持ち上がってまいりましたが、新学部を含め既存学部と連携し、学園ゾーンの深化を図り、同駅周辺の開発が本町全体へ波及させていくことが重要であると考えています。</p> <p>同大学の学生が本町には、およそ1,500人居住しており、その他多くの学生が本町に通学しています。また、指導者も同様です。この人的資源を活かすことができることは本町ならではのことでありますので、住民利用のほか専門的な分野にもぜひ活用していただきたいと考えます。</p> <p>また、その成果についても本町に還元していただきたいということも付け加えさせていただきます。</p>

26	<p>大学に1学部新設されることがなぜ、「障がい者スポーツの町-美浜-」になるのかわからない。しかも日本陸連公認の夜間照明付き全天候型トラックが町民にとって必要なのか。「将来的には障がい者全国スポーツ大会の誘致」などは、本町の立地環境などから見ても絵空事に思える。</p>	<p>本町と包括協定を締結している日本福祉大学に新設されますスポーツ科学部は、子どもから高齢者、障がいのある人などに対しての指導者を養成したり、スポーツを様々な角度から分析、実践、運営等を行うことを研究する学部となります。</p> <p>また学部の中には障がい者を支える専門的なものもあり障がい者スポーツに力を入れていくことをお聞きしています。また、パラリンピック等の出場選手の輩出などの実績等もあり、国際的な委員会の委員を務められている方も在職されることになると合わせてお聞きしております。</p> <p>このような機会を捉え、本町の活性化に向けて規模の妥当性を検討したところ日本陸上競技連盟の第3種公認があれば多くの大会が開催でき効果を発揮できると判断しております。</p> <p>この計画案が報道されて以降、中部国際空港に近く、鉄道駅に隣接しているということで大会開催の問い合わせなどもきておりますので、整備後については多くの来町者をお迎えしたいと考えております。</p>
27	<p>運動公園の維持管理費についてどのように考えているのか。</p>	<p>説明会では、本町にあります総合公園を始めとする都市公園の維持管理費として、「現在美浜町の中に同じような施設はございませんので、美浜町の総合公園の実情を説明させていただきます。グラウンドについては、1,800万円、体育館については、3,800万円ほどかかっております。グラウンドの内訳ですが、草刈りなどにかかっている4人分の人件費がおよそ550万円、土地の借地料として700万円合わせて1,200万円ほどかかっております。1,800万円との差額の600万円については、他の都市公園にて使用しております。比較が違うかもしれませんが参考までにご報告いたします。」と説明をさせていただきました。</p> <p>運動公園の施設内容がまだ定まっておられませんので、実施設計の段階、また、管理方法が決まりましたら積算していきたいと考えております。</p>
28	<p>運動公園内では、町民が普段から使える施設もできないのか。例えば、町民ふれあいセンターのような施設で、風呂・食堂・物産販売などを有料で、しかも雇用などをし、お金の落ちる施設を造ってほしい。</p>	<p>運動公園の整備については、国からの補助金を財源に整備を検討しています。ご意見の中にありますような収益施設を整備する場合は、用地費を含めて補助金の適用外となる可能性があります。</p> <p>また維持管理の手法については、様々考えられますのでその中で雇用面についても検討してまいります。</p>
29	<p>運動公園は、日本福祉大学との連携を前面に、スポーツだけではなく「福祉のまち美浜」をアピールできるような施設にならないか。子供や高齢者のための公園はいいことであり、花壇などは住民のボランティアでできると思う。</p>	<p>運動公園においては、子どもから高齢者まで、また障がいのある方及び運動が苦手の方などが、いつまでも元気に過ごすことができるよう日本福祉大学と連携し、活用できるよう協議を進めていきます。</p> <p>この活動自体が、今後増加してくる元気な高齢者の活躍の場を提供していくことになり多世代町民参加型の「福祉のまち」として広がり、医療、介護、福祉に対する不安も軽減され地域力になると考えております。</p>

30	<p>運動公園について駐車場スペースが大変広いように感じる。大学の駐車場を兼用できないのか。</p>	<p>運動公園では常設の駐車場としておよそ500台を計画しております。駐車場の配置としては、知多奥田駅側と町道奥田・河和線側にそれぞれ設置する計画としております。</p> <p>他の運動公園と比較しても、多いというわけではございませんが、駅に近いという利点を活かすことができるためこの台数にて検討しております。</p> <p>また、芝生駐車場（267台）については、あくまで臨時用でありまして、通常時においては陸上競技のサブグラウンド、フットサル、バドミントン、パターゴルフ等多目的に体を動かしていただく広場として利用していただきたいと考えております。</p> <p>また、日本福祉大学の駐車場を兼用することについては、考えておりませんので必要な駐車スペースは公園内で確保していきます。</p>
----	--	---